

認知症初期集中支援チームの配置について

長寿社会部地域包括支援センター

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目指して、「認知症初期集中支援チーム」を配置しました。

記

- | | |
|----------|---|
| 1 配置チーム数 | 1 チーム（医師 1 名、看護師 3 名、社会福祉士 1 名、介護福祉士 2 名） |
| 2 実施主体 | 市 |
| 3 実施機関 | 公益財団法人 脳血管研究所 |
| 4 配置日 | 平成 28 年 8 月 1 日 |
| 5 対象者 | 40 歳以上で在宅で生活している認知症
または認知症が疑われる人の中で
・医療・介護サービスを受けていない、または中断している者。
・医療・介護サービスは受けているが、認知症の行動・心理症状
が顕著なため対応に苦慮している者。 |
| 6 活動内容 | 複数の専門職が認知症または認知症が疑われる人とその家族を訪問し、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う。（おおむね 6 ヶ月以内） |
| 7 相談受付 | 高齢者相談センター（日常生活圏域に設置の地域包括支援センター） |